

<エイジレス・ライフ実践者>

北海道・東北ブロック

推薦団体	(ふりがな) 氏 名	性 別	年 齢	エイジレス・ライフの概要
北海道 (芦別市)	(やました かずお) 山下 和夫	男	74	農業を営んでいた父親が農閑期に稲わらで用具を作り、農作業時に使っていたのを見て興味を持ち、以来、わら工品に取り組んでいた。その後、木彫りにも取り組み、子どもから高齢者まで幅広い範囲に技術指導するとともに、数々の作品を色々な場所に寄贈し、自らの生きがいを確立しながら地域社会へ貢献している。
青森県 (木造町)	(おだがわ ふとし) 小田川 太	男	69	地域の伝統行事を小学校の総合学習の時間に親子をともに対象として指導。 30年程前から無農薬米の生産に取り組み、全国の人との交流を続けている。また、これまでの農業人生を通して、先祖の供養と平和を祈念して写経を 7,700 巻奉納。
秋田県 (湯沢市)	(すぎもと のぶこ) 杉本 信子	女	85	85歳の現在も、湯沢市生涯学習奨励員としてボランティアで踊りの指導を行う。他にも6団体120人近い人々に踊りの指導を週1回行っている。
福島県 (泉崎村)	(みどりかわ まさき) 緑河 正喜	男	75	趣味で習得した菊花栽培技術を生かし、地元の泉崎第二小学校「緑の少年団」の「一人一鉢」運動に「菊づくり」が取り入れられると、率先して栽培技術指導に当たり、土づくりから開花観賞までを8年間ボランティア活動として行っている。「菊づくりと人づくりは同じだ」を口癖に、子供達の自然愛護の精神と思いやりの心の育成等、児童の人間形成に力を注いでいる。

推薦団体欄の()内は居住地

関東・甲信越ブロック

推薦団体	(ふりがな) 氏 名	性 別	年 齢	エイジレス・ライフの概要
栃木県 (栃木市)	(あおやま みつる) 青山 充	男	75	不登校の子供たちを対象にして、相談ボランティアグループを結成して10年になる。現在は、マンツーマンで実施してきた相談活動を地域の公民館を利用した相談活動に広げている。また、平成13年10月からは市教育委員会の要請により不登校の子供たちの適応教室「はばたき教室」に協力している。
群馬県 (前橋市)	(いわた かめさく) 岩田 亀作	男	83	自らの戦争体験談を、年4～5回、小中学生を対象に講演する。また昨年度は、国民文化祭の一環として、自ら企画・設営した戦争の企画展を開催し、3日間で延べ450人が参加した。二度と戦争を起こさせないために、使命感を持って取り組んでいる。
埼玉県 (東松山市)	(すずき ちゅういち) 鈴木 忠一	男	81	昭和40年に交通安全協会指導員を委嘱されて以来、30年余にわたり、地域の交通安全リーダーとして交通安全指導に尽力している。実践活動に基づいた講話は、ゲームやクイズを取り入れ、聞く人の心を動かす。子ども達からも「交通安全のおじさん」として親しまれるなど地域住民の信望が厚い。
東京都 (葛飾区)	(おおいで みよ) 大出 美代	女	78	自らの戦争体験を通じて、ボランティアで中国残留婦人の身元引受人として生活の援助を行っている。また、残留婦人からの聞き書きを文章にまとめる活動も行っている。
東京都 (武蔵野市)	(たざき さかえ) 田崎 栄	女	82	日本点字図書館で朗読ボランティアを行った経験を活かし、77歳から老人ホームでの朗読ボランティアを週3,4回行う。市の配食ボランティアにも約30年前から参加するなど、前向きで生き生きした生活を送っている。
東京都 (小金井市)	(せりた よしなお) 芹田 喜直	男	76	定年退職後に、それまで無関心だった地域活動を始め、現在では料理教室など3つの団体を開催している。その他、介護施設や障害者施設との交流を年20回ほど行っているのを始め、地域活動を積極的に実践している。

東海・北陸ブロック

推薦団体	(ふりがな) 氏 名	性 別	年 齢	エイジレス・ライフの概要
静岡県 (下田市)	(ませ さだこ) 間瀬 定子	女	84	若い頃から著名な茶師範に師事し、関東、東海圏を中心に、いろいろな土地で得た茶道の知識、経験をもとに、自ら下田市茶道連盟を発足。その後、世代を問わずお茶を紹介するとともに、小中学生ともお茶を通じて交流する計画をたてる等、生き生きと元気に社会参加活動をしている。
富山県 (上市町)	(たけべ よしかず) 武部 芳一	男	75	会社員時代にはファンの羨望を集めた「ミヤタハーモニカバンド」のメンバーとして活躍。その後、戦争で自然に活動も自粛となる。だが、定年後、一念発起し、約40年のブランクもものともせず、ハーモニカ振興会主催による指導者養成教室の指導者に就任。自身でも教室を開始。バンドも結成し、活動している。年に20回ほど福祉施設、病院なども訪問。同年代の方が若い頃親しんだ曲を演奏し、拍手喝采を浴びる。
福井県 (小浜市)	(かさはら てるこ) 笠原 輝子	女	80	52歳から人形制作を習い始め、東京に通い56歳で師範免許を取得し、各地での個展の開催や外国要人への贈呈など、積極的に創作活動に取り組んでいる。現在は、地元での人形教室の指導の傍ら福井の歴史を物語る人形制作を続けている。
愛知県 (小牧市)	(はんだ あきら) 半田 明	男	93	54歳で通訳の国家試験に合格し、64歳で英語検定1級の資格を取得。小牧市市民講座英会話の講師をしたり、趣味のバイオリンを弾いたりし、またスポーツ(水泳・ボーリング・体操・ゲートボール)にも力を注いでいる。以上のことから高齢になった現在でも健康で意欲的な毎日を過ごしている。
愛知県 (音羽町)	(ごんだ とみえ) 権田 とみ江	女	83	家業の衣料品店を手伝いながら、4人の子育てが一段落した53歳に自分の楽しみとして民謡を始めたが、三味線に興味を持ち、習い始めた。以後、継続努力し地元のクラブの指導者となる。また、加えて76歳から社交ダンスも始め、30～50代に引けを取らない活躍ぶりに周囲の人たちから感心されている。高齢化社会に生きる理想的な姿と思われる。

近畿ブロック

推薦団体	(ふりがな) 氏 名	性 別	年 齢	エイジレス・ライフの概要
滋賀県 (彦根市)	(にしむら ただし) 西村 忠	男	78	彦根史談会の会長として長年にわたり活躍し、現在も役員として彦根の歴史についての研究を深め、その成果を取りまとめたり、講演会を開催するなどして、彦根市民が地域の歴史を知り、関心を持つことで、ふるさとを愛する心を育む活動に取り組んでいる。
京都府 (長岡京市)	(いりやま やすひろ) 入山 康弘	男	80	定年退職後、自分の趣味であった手芸・彫刻・押し絵等を生かし、長年にわたり地域の中で講習会を開催する等のボランティア活動を数多く実践してきており、また、自分の作品を数多く公共機関等に寄贈している。特に、男性では珍しいアンゼルスン手芸の活動は多くの方に刺激を与えているとともに、淡々と活動する生き方はエイジレス・ライフの実践者である。
京都府 (精華町)	(たに きよこ) 谷 キヨ子	女	83	幼い頃から培ってきた、てまりづくりの技能や独学により修得してきた各地のてまりに関する歴史や特色などの知識を高齢者の生活で積極的に社会に還元し活躍していることや、てまりづくりを通じて地域における交流の輪を広げ、自らの生きがい活動と健康保持に活かすとともに、地域の高齢者に対しても生きがい活動の一つとして普及を行っている。また、町内の中学校において交流事業の一環として、てまりづくりを指導するなど世代間交流にも積極的に取り組んでいる。
大阪府 (貝塚市)	(やまね こうはち) 山根 幸八	男	90	若い頃からボランティア活動に積極的に参加し、20年前からは、自らの健康のため、毎日欠かさず町内全域と港湾公園の草刈り及び清掃を行っている。90歳になった今でも健康を維持し、地域美化に励み、ボランティア精神を持ちつづけている。
兵庫県 (芦屋市)	(まるかわ かつみ) 丸川 勝美	男	94	自ら考えた床上体操を毎日起床時と就寝前に行うことを長年続けていることで優れた体力を維持しており、現在は阪神淡路大震災の犠牲者の霊を弔うため、6,450枚写経することを実行している。その他にも日本画、水彩画、放送大学での勉強など何事に対しても修練によりやりだした事を続けるための気力を維持し活躍している。
奈良県 (三郷町)	(あおき たかよし) 青木 孝益	男	70	県域、年齢を超えた会員60名の「山仲間の会」を発足させ、以来月1回の熟年健康登山を企画・募集・実施し、健康の増進と登頂の充実感の共有等を通じた心の交流を図るとともに、会員のエッセー、健康問題等を掲載した会報(季刊)を発行している。

和歌山県 (新宮市)	(かきうち いちお) 垣内 市雄	男	90	45 歳から始めた卓球を 90 歳になる現在まで現役で続けている。全国ベテラン卓球大会の年代別で過去 4 回優勝。特に平成 12 年 9 月の鳥取大会において 88 歳の最高齢者として優勝する。また、高齢者への卓球の普及に努め、ボランティアとして新宮市老人クラブ連合会の生きがい教室の卓球教室で 21 年間指導している。
---------------	---------------------	---	----	--

中国・四国ブロック

推薦団体	(ふりがな) 氏 名	性 別	年 齢	エイジレス・ライフの概要
島根県 (益田市)	(じょういち さだと) 城市 貞人	男	75	退職後、公民館、子供会サークル活動等で伝統工芸(竹細工、かすら細工等)の指導講師をしている。また、県立万葉公園、神社の植物や史跡についてガイドも行う傍ら、最近では小中学校の総合学習の講師としても活躍している。
岡山県 (灘崎町)	(たなべ みちこ) 田邊 美智子	女	82	幼少の頃からのハンディにも負けず、常に前向きに生き続け、高齢になってから、ちぎり絵などの作品を黙々と創り上げ、そのことに生きがいを見出し、充実した気力で作品を出品したり配ったりしながら、周りをも喜ばせている。67歳で両足切断。現在は義足で歩行。
広島県 (上下町)	(もりおか まさこ) 森岡 まさ子	女	92	県内初の民営ユースホステル「MG ユース」を開設、多くの青少年の交流の場を作った。原爆の恐ろしさと平和の尊さを広く若者たちに伝えるため、現在も講演活動とユースの運営を続けている。昨年大病を得るも奇跡的な回復をし、これも今までに出会った人々のおかげであると、感謝を込めて、これまでの出会いをまとめた本を出版。講演活動も一層意欲的にこなしている。
山口県 (防府市)	(よしたけ ふに) 吉武 不二	女	84	現役シルバーセンターの会員として仕事をこなしている。30年余り前から、卓球に打ち込み、県ベテランズ卓球大会では、1位の座を堅持。今年の世界ベテランズ卓球大会では、2年前の3位を超え、悲願の優勝を果たした。また、友達の輪を広げるために、英会話にも挑戦中。「規則正しい食事、汗を流すこと」が元気の秘訣。火災発生時の消火活動で感謝状が贈呈された。
山口県 (長門市)	(ましま きよこ) 増山 キヨ子	女	79	県無形民俗文化財「俵山女歌舞伎」の保存、継承に長年にわたり尽力されている。現在も、現役の役者として舞台上で活躍するとともに、指導者の一人として若い人たちへ演技を指導している。また、俵山生きがい大学の参加者で結成した舞踊の会に参加し、各老人施設など慰問し、民踊を披露し、入所者の心を和ませている。
徳島県 (羽ノ浦町)	(なずみ たかし) 那住 孝	男	78	退職後に町の体育指導委員に任命されたのを皮切りに、ゲートボール、グランドゴルフ、カローリング等多彩なスポーツの普及指導や組織化を図り、高齢者の健康づくりのためのスポーツ振興に取り組んでいる。また、自らも毎日ジョギングを楽しみながら全国のマラソン大会に参加している。

香川県 (丸亀市)	(まえだ としお) 前田 俊雄	男	78	国鉄公安職員時代、独学により腹話術を研究習得、幼稚園や小学校、老人クラブ行事等で腹話術により交通安全講話を行うほか、月2回、いきいき体操の指導をしている。
愛媛県 (瀬戸町)	(かとう かめきち) 加藤 亀吉	男	88	台風で壊れた屋根の修理をしてあげたり、講演会の看板を書いたり、町民センターの入り口に毎週生け花を生けたりといった様々なボランティア活動を約40年前から実施。また、年間100本程度の竹藪を作成し、保育園、役場等に寄付している。昭和47年からは少年警察協助力員として、青少年の非行防止に協力している。

九州ブロック

推薦団体	(ふりがな) 氏 名	性 別	年 齢	エイジレス・ライフの概要
福岡県 (飯塚市)	(こうの くにお) 河野 國雄	男	77	退職後、多彩な特技を生かして飯塚市主催事業「人材派遣事業」の学習ボランティアとして平成5年の開始当時から登録し、市内の小中学校や児童センター・高齢者大学等で活躍している。指導項目も伝承遊び・工作・切り絵・陶芸・卓球と多岐にわたり、地域活動に対する前向きな姿勢は高く評価される。
長崎県 (佐世保市)	(にし こたろう) 西 小太郎	男	85	新興住宅地の性格上、他地域からの転入高齢者の多くが孤独になりがちであったことから、地区の自治会長として老人クラブを2ヶ所設立させ、地域交流と健康増進を目的に、当時、健康生涯スポーツとして奨励されていたグラウンド・ゴルフの普及に取り組んだ。平成4年には佐世保市グラウンド・ゴルフ協会を発足させ、会長として現会員数500余名の協会に発展させた。
熊本県 (湯前町)	(しばた かめ) 柴田 カメ	女	91	知人から勧められたのがきっかけで72歳から油絵を描き始め、持ち前の向上心で地道な努力を続けられ、19年間も創作活動を続けてこられた。平成10年(87歳)に初の個展開催。平成13年には熊本県美術協会主催の「県美展」に初出展し初入選。90歳を超えた現在もその活動意欲は衰えることなくますます盛んである。
宮崎県 (三股町)	(てんみず とうへい) 天水 藤平	男	74	永年の職業体験や役職経験における知識や独学で学んだマジックの技術を活かし、社会貢献の気持ちを持って講演会の講師や学校、施設等の訪問活動を続ける。特にユニークな活動としては、夫婦でほとんどの都道府県を自家用車で巡回し、行く先々の施設で講演とマジックを披露するボランティア日本一周の旅を過去2回実施している。
宮崎県 (川南町)	(みずまち きみこ) 水町 君子	女	91	65歳になって手まりづくりを独学で始め、強い信念を持って作り続けている。現在、県老連の「高齢者の知恵と技」の名人として活躍中であり、その優れた技は小学生から高齢者まで多くの人たちに伝承される。また、老人福祉施設等へ作品寄贈も熱心に行っている。
鹿児島県 (鹿児島市)	(せとぐち つねよし) 瀬戸口 經義	男	94	薩摩狂句の魅力に惹かれて以来、薩摩狂句の句会に参加する傍ら、町内のお達者クラブで指導者として活躍し、町内清掃活動等にも積極的に参加しており、町内の方々から大変慕われている。また、70歳から始めた水彩画や米寿を記念して「自分史」を編集するなど、幅広く活躍中である。

鹿児島県 (伊集院町)	(おおにし さなえ) 大西 早苗	男	83	高齢者や障害者の閉じこもり防止を図るため、管内で行われる研修会や集い等において、スポーツやレクリエーションを取り入れ、その指導に積極的に取り組んでいる。また、これらの経験を活かしたスポーツ指導と講演活動を行い、高齢者向けスポーツの普及に貢献している。
北九州市	(いまくら すずこ) 今倉 スズコ	女	88	グループでは、2ヶ所の特別養護老人ホームにてオムツたたみや話し相手。個人では、母子寮にて月2回、夜間に生け花教授をボランティアで行っている。また、地域の子ども会では昔遊びの伝承、美化活動などにも積極的に取り組んでいる。

関連団体

推薦団体	(ふりがな) 氏 名	性 別	年 齢	エイジレス・ライフの概要
健康・生き がい開発 財団 (東京都小 金井市)	(おくぞの たかし) 奥園 高之	男	71	平成 6 年 64 歳でリタイア後、「健康生きがいづくりアドバイザー」の資格を皮切りに「初級産業カウンセラー」「余暇生活相談員」「余暇生活開発員」「ホームヘルパー 1 級」「生きがい情報士」「シニア情報生活アドバイザー」「生涯学習 1 級インストラクター(生涯学習)」等の公的または民間資格を取得し、地域の高齢者・障害者を対象とした“グループ活動”の世話人と“相談室”“訪問介護”“移送サービス”“配食サービス”“パソコン指導”などの実践活動を行っている。
郵政退職 者近畿共 助会 (京都市)	(たなべ ひろし) 田邊 博	男	87	昭和 48 年郵政省退官後、郵政退職者近畿共助会に入会。京都支部役員の傍ら、京都老人大学に入学、同大学の事務局長のとき、台湾・韓国・香港・シンガポールの老人大学関係者と提携し、昭和 58 年に亜細亜老人学友協会を設立。日本本部会長として関係国との交流を深め、平成 12 年には NPO 法人資格を取得、在日留学生の支援活動などを行ってきた。